会員リレートーク Vol.43

フォレストローのご紹介

（株）フジカワ紙販

（株）フジカワ紙販が参加するＮＰＯ法人マイプラ対策室ではＦＳＣ認証紙ストロー（以下「フォレストロー」という）を製品化しました。

フォレストローには山梨県県有林でオフセット・クレジットを付与できます。

※FSC：FSC（森林管理協議会）は木材を生産する森林と、その森林から切り出された木材の流通や加工のプロセスを認証する国際的な森林認証制度を行う第三者機関のひとつで、（1）森林環境を適切に保全し（2）地域の社会的な利益にかない（3）経済的にも持続可能な森林管理を推奨しています。

※オフセット・クレジット：経済活動で避けることができないＣＯ２等の温室効果ガス排出量のうち、削減できない量を別の場所での排出削減・吸収量を購入することでオフセット（埋め合わせ）する考え方です。

海や森で起きていること

２０１６年に開かれたダボス会議では、２０５０年までに海洋中に存在するプラスチックの量が魚の量を超過すると試算が報告されました。また、飲み水等の水源であり、地球温暖化を防いだり、災害から私たちを守ってくれたり、木材資源を生み出したりと、私たちの生活に大きな恩恵を授けてくれる森林でも森林破壊や人工林の放置問題、生物多様性の喪失など難しい問題が起きています。

次世代にも暮らしやすい地球を残したい

森を資源として有効に活用しながら、森はもちろん、森や海に棲む生き物や地域住民の文化、生活を守り、次の世代に受け継ぎたい。そのために「環境」「社会」「経済」のバランスを適切に保ちながら、森を活用した国産初となるFSC認証紙ストローであるフォレストローが２０２０年３月に誕生しました。

フォレストロー商品情報

商 品 名：フォレストロー
サ イ ズ：直径5.5mm×197mm
材　　質：食用晒クラフト
印刷成分：植物性（米ぬか由来）、仕上げに食用ニス加工
入 り 数：3,000本入り／箱



フォレストローは包装や箱に詰める作業を県内の障がい者施設の皆さんに委託しています。障がい者優先調達推進法の商品としても活用できます。

きれい甲斐山梨

No.88 OCTOBER 2020

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。
環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

環境パートナーシップやまなし
事務局●〒400-8501山梨県甲府市丸の内1丁目6-1山梨県環境･エネルギー課内
TEL.055-223-1502 FAX.055-223-1781 ✉kankyo-ene@pref.yamanashi.lg.jp
ホームページ パートナーシップやまなし 検索
発行責任者●企画委員長 志 村 宏 司

古紙パルプ配合率80%再生紙を使用しています

令和2年度定期総会を開催

令和２年度定期総会は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、書面会議としました

役員・企画委員

会長	坂本 政彦	（一社）山梨県トラック協会	
副会長	田辺 光正	山梨県ボランティア協会	野口 英一 (公財)富士山をきれいにする会
	井上 貴文	山梨梨県ＰＴＡ協議会	澤井 實 山梨県農業協同組合中央会
	萩原 雄二	日本労働組合総連合会山梨県連合会	小林 明 山梨県商工会議所連合会
監事	浅野 正一	（一社）山梨県建設業協会	辻 一幸 （一社）山梨県森林協会
企画委員長	志村 宏司	パルシステム山梨	
企画委員	内藤 力	山梨県商工会連合会	保坂 賢 環境に関する企業連絡協議会
	飯窪 さかえ	あしたの山梨を創る生活運動協会	仲澤 早苗 山梨県消費生活研究会連絡協議会
	伊藤 祐寛	山梨県専修学校各種学校協会	清水 澄男 (一社)山梨県労働者福祉協会
	黒田 光秀	クロダ㈱	望月 立弥 山梨県自然保護教育振興会
	齋藤 紳悟	(公社)山梨県私学教育振興会	渡部 英士 (一社)山梨県老人クラブ連合会
			依田 茂己 山梨県青少年団体連絡協議会
顧問	宮川 睦武	山梨県中小企業団体中央会	

令和2年度事業計画

1．活動情報の交換及びネットワークづくりのための事業
（1）広報誌の発行
・会員向けの会報的なものとし、年４回の発行を基本とします。
・会員相互のパートナーシップを深めるため、本会の活動計画や活動報告を掲載します。
・会員紹介や会員の特徴のある活動をＰＲし、環境活動を広めていきます。
（2）会員の募集
・積極的な広報活動を行い、より一層の会員の拡大（募集）を図ります。
（3）ネットワークづくりのための検討
・会員のネットワーク化及び主体的な事業参画に向けての検討を行います。

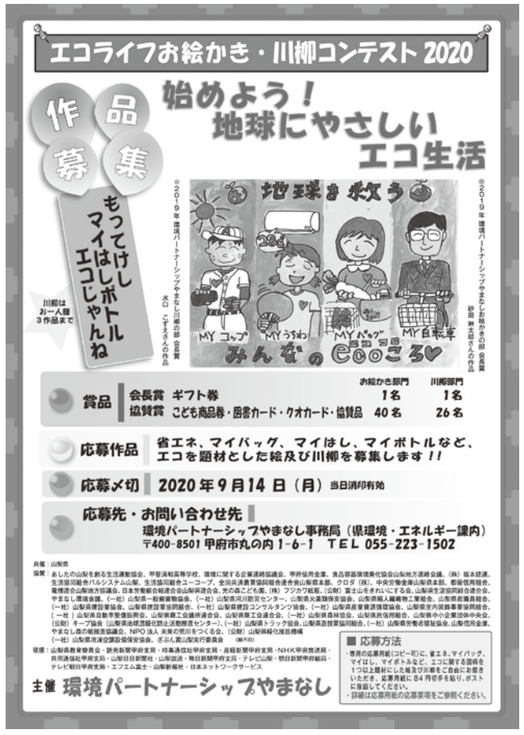
2．３Ｒ・温暖化防止対策実践活動推進のための事業
・エコライフお絵かき・川柳コンテストの開催
・３Ｒ推進、地球温暖化防止に関するネットワークフォーラムの開催
県民への意識の定着化を進めるため、関係団体に働きかけ、エコライフの普及や地球温暖化防止に関するネットワークフォーラムを開催します。
・プラスチックごみ対策の推進
県が令和元年度に策定した「山梨県プラスチックごみ等発生抑制計画」に基づき、プラスチックごみの発生抑制に向けた取り組みを進めます。

3．その他
・行政課題解決のための協働事業
・県事業との協働及び民間活動団体に対する後援等によるネットワークの拡充
「やまなしクリーンキャンペーン」、「“人と環境にやさしい交通”県民運動」、「ボランティア・ＮＰＯ活動推進月間」「やまなしクールチョイス県民運動」などに積極的に参画し、実践活動を行っていきます。

「エコライフお絵かき・川柳コンテスト2020」について

　このコンテストは、県内の保育所、幼稚園、小学校、中学校の園児や児童、生徒、県内在住又は県内勤務者から省エネ、マイバッグ・マイはし・マイボトルなどエコに関する絵及び川柳を募集することにより、その製作過程を通じてライフスタイルを見直し、環境にやさしい暮らし方をしてもらうことを目的としています。

コンテストについては環境パートナーシップやまなしホームページでもご案内しています。
http://www.pref.yamanashi.jp/kankyo-ene/partnership.html



発　表　審査結果は、環境パートナーシップやまなしのホームページに掲載します。

問い合せ先　〒400-8501　甲府市丸の内1-6-1
環境パートナーシップやまなし事務局（山梨県環境・エネルギー課内）
TEL　055-223-1502

お知らせ

「きれい甲斐」は、送付方法を①郵送、②メール配信、③県ホームページからダウンロードの3種類から選択できます。現在の送付方法から変更を希望される方は、事務局までご連絡ください。

環境パートナーシップやまなし事務局（山梨県環境・エネルギー課内）
TEL:055-223-1502／FAX:055-223-1781　E-mail:kankyo-ene@pref.yamanashi.lg.jp

COLUMN コラム　萩原　智子



5月に新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言を解除されました。新しい生活様式が提示され、ウイルスとの共存をそれぞれが自覚を持ち努力しています。努力していても、感染してしまうこともあるでしょう。あらためて目に見えないからこその恐怖を実感しています。自分自身、そして自分自身のコミュニティーでできることから、前向きに生活したいと思います。

　コロナ禍で人間が右往左往している間も、自然はその姿を変えず、堂々と、そしてたくましく、その営みを続けています。庭の木々も、新緑から、あっという間に深緑に変わりました。

　昨年の秋から5歳の息子と庭から見える桜の木のお絵描きをしています。秋は紅葉している葉っぱ、冬は葉が落ち、枝だけになった姿。そして春には、ピンク色の桜の花を画用紙いっぱいに描きました。初夏の新緑、そして夏になった今、葉の微妙な色の変化を二人で眺め、描いています。春夏秋冬、その時々に見せてくれる自然の豊かさに心が揺さぶられます。

　息子は、様々な季節の桜の木を見ながら、「変身するんだね」「葉っぱがなくて寒そうだね」「ピンクで嬉しそうだね」「葉っぱがいっぱい。パーティーしているのかな」など、想像力豊かな想いを披露してくれます。私はそんな発想が浮かばず・・・子供の純粋な心に圧倒されます。

　コロナ禍の今だからこそ、心に数多くの癒しや学びを与えてくれる身近な自然の尊さをあらためて実感しています。日本に生まれ、四季を感じることは、人間として成長していく中でも重要な意味を持っていると思います。

Profile プロフィール

名　　前　萩原智子（はぎわら・ともこ）
生年月日　1980年4月13日
肩　　書　・日本水泳連盟理事
　・日本マスターズ水泳協会理事
　・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員
出 身 地　山梨
出 身 校　山梨学院大学付属高等学校
　山梨学院大学
　山梨学院大学大学院

中学3年生時に、海外遠征カナダ選手権200m背泳ぎで、当時、日本歴代2位となる日本中学新記録樹立。
高校インターハイでは、200m背泳ぎで、3連覇達成。同年アジア競技大会では、個人、リレー種目で、3個の金メダルを獲得。
2000年シドニー五輪、200m背泳ぎ4位、200m個人メドレー8位入賞。2002年日本選手権では、100m、200m自由形、200m背泳ぎ、200m個人メドレーで史上初の4冠達成。「ハギトモ」の愛称で親しまれ、2004年現役引退。
5年の歳月を経て、2009年現役復帰宣言。復帰レースとなった新潟国民体育大会では大会新記録で優勝。
翌年2010年には、30歳にして日本代表に返り咲いた。同年、ワールドカップ東京大会で50m自由形、100m個人メドレーで、短水路日本新記録を樹立。
2012年2月のJAPAN OPENでは、50m自由形で短水路日本記録を樹立。
2013年6月、日本水泳連盟理事に就任。
2015年、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員に就任。
　現在は、テレビ・ラジオ出演や水泳の解説のほか、自ら現場に行って取材を行い、ライターとしても活動の幅を広げている。
　メディア出演のほかにも、これまでの人生経験をもとに講演活動を行うほか、改めて、自身を育ててくれた「水」に感謝し、水泳教室はもとより、「水の大切さ」 や「水の教育」にも取り組む水でエデュケーション・コミュニケーションする「水ケーション」の活動にも注力している。また山梨県、福島県、愛知県で水泳大会「萩原智子杯」も開催している。

●投稿募集中

【会員紹介コーナー】
①A5判程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地（事務局または事務所）、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

【行事予定】
○主催団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等をお教えください。